

第6学年2組 学級活動学習指導案

平成28年9月26日(水) 第5校時
児童数24名(男子12名女子12名)
指導者 岩 寄 誠
 荻 谷 知 子(支援員)
場 所 6年2組 教室

- 1 題材 「ネットゲームに夢中になると…」
内容項目(2)イ「基本的な生活習慣の形成」

2 題材設定の理由

(1) 児童の実態について

インターネット上には様々な情報やコンテンツがあり、何よりもインターネット利用を優先して自分の意志ではやめることができなくなったり、日常生活に支障をきたしてしまったりするほど熱中してしまう児童がいる。

本学級では、自宅にパソコンを所有しており、かつそのパソコンを自由に使える児童が多数いる。放課後家に帰ると、保護者が家にいない児童もおり、パソコンを自由に使える。学校での調べ学習でパソコンを使う授業においても、ほとんどの児童は意欲的にパソコンを操作している。興味を持ち、パソコンに接することはとても良いことではあるが、ソーシャルネットサービスやネットゲームの罠に、知らず知らずにはまってしまう可能性があることから、本題材を設定する。本学級は特別支援学級からの通級児童が一人いるため、支援員を一人配置する。

(2) 題材について

ネットゲーム(オンラインゲーム)等に熱中すると、インターネットの利用を何よりも優先して自分の意志ではやめることができなくなったり、日常生活に支障をきたしてしまったりする、いわゆる「ネット依存」に陥ることがある。本教材では小学生、中学生が陥りやすいゲーム依存を取り上げながら、依存状態にならないためにはどうしたらよいかについて考えさせる。そして、自分の生活を振り返り、改善すべき点等を見直し、自ら節度を守り、節制に心掛ける態度を育てる。

(3) 指導について

そこで、ネット依存の1つであるゲーム依存を取り上げ、ゲーム依存に陥ってしまうことによる、心身の弊害、日常生活や人間関係等の影響を理解させる。また、インターネットの利用方法や心構えについて話し合わせ、自ら節度をもって利用する意識や、健康への関心を高めさせる。

児童の利用が多いゲームを題材にした指導を行うことによって、リアリティを感じさせながらネット依存について考える機会とさせる。

3 研究主題との関わり

本校では、研究主題を「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童

の育成」として研究を進めている。そのため、①伝え合う児童、②認め合う児童、③高め合う児童を、「めざす児童像」として、全教育活動を通して児童の人権意識を高め、一人一人を大切に教育を推進している。

本時は、人権教育上の視点を（コミュニケーション能力）におき、問題点や原因、どのようにすればよかったか等を、他者との学び合いや対話を大切に、相手の考えや心情を受け止めながら、自分の考えを整理し、意見を調整しながらものごとをすすめることをねらいとしている。

【手立て①】 グループでの話し合い

自分の考えを発表し、友達の意見と交流することで、自分の意見を深める。

【手立て②】 付箋によるグルーピング

お互いの意見の共通点や相違点を認め合い、一つ一つの意見が大切であることを受け止める。

【手立て③】 教師による励ましや評価

状況に応じて、個別に励ましや賞賛、アドバイスをを行う。

4 題材の目標

ネット依存の入り口の1つであるゲーム依存に着目して、その傾向や問題点を理解させ、日常生活に支障をきたさないように、けじめをつけてインターネットを利用する態度を養う。

5 指導と評価の計画

事前	題材を知り、アンケートにこたえる。	【関心・意欲・態度】 学習課題について真剣に受け止めている。
本時	課題について考え、結論を出す。	【技能】 多様な考えを受け入れ、よりよい解決の仕方を探ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 自分の生活を振り返り、改善すべき点等を見直し、自ら節度を守り、節制に心掛けようとしている。
事後	家庭などで作成した「ゲームをするときのルール」を朝の会や帰りの会等で交流させる。	【技能】 ルールを意識し、節度を守っている。

6 人権教育上のねらい（コミュニケーション能力）

意見や気持ちを適切かつ豊かに伝え合い、わかり合える態度を養う。

7 人権教育上の視点

(1) 相手の気持ちや考えを共感しながら聞き、自分の考えを整理することができる。(技能)

(2) 他者との学び合いや対話を大切に、意見を調整しながら物事を進めようとしている。

(価値・態度)

8 本時の学習と指導（本時 1 / 1）

（1）目標

ネット依存の入り口の1つであるゲーム依存に着目して、その傾向や問題点を理解させ、日常生活に支障を来さないように、けじめをつけてインターネットを利用する態度を養う。
（関心・意欲・態度）



（2）展開

人権教育上の配慮（◎）

学習活動	指導上の留意点（○）評価（☆）	時間
1 アンケート結果を確認する。（意識化・共通化） ・ゲームに費やしている時間が多いことを知る ・家の人との約束が守れない人を知ることを知る ・自分の意志でゲームをやめることができないことはネット依存の状態の1つであることを知る	○オンラインゲームに夢中になって約束を守れなくなってしまったり、やめようと思ってもやめることができなかったりする人について、私の例を参考に確認させる。 ○ネット依存について説明する。	4
2 本時のめあてを理解する。 ネットゲームの怖さを知ろう！		2
3 導入動画を視聴する。	< 導入動画 > ・オンラインゲームがやめられなくなってしまったひろしさんのお話です。問題点と原因、どのようにすればよかったのかを考えながら見ましよう。	5
4 「問題点」と「原因」、「どうすればよかったか」を考え、付箋に書く。（原因追求） 【問題点】 ・ゲームをやめられない ・朝ご飯を食べない ・学校の友達と遊ばない ・朝、起きられない ・宿題をやらない 【原因】 ・ゲームが楽しいから ・夜、寝ないから ・続きがたくさんあるから ・約束があるから ・友達と競い合えるから ・ネットの友達に迷惑がかかるから 【どのようにすればよかったか】 ・決めた約束を守る ・家の人に見てもらう ・ゲームの仲間には何時までと前もって言う ・時計をセットして家の人に声をかけてもらう ・時間になったら家の人にゲーム機を預かってもらう	◎オンラインゲームに夢中になってしまった結果、心身の弊害、日常生活や人間関係の影響等があることを整理し、明確にさせる。	5
5 グループ内で自分の意見を発表しながら、付箋をグループで話し合う。	◎相手の気持ちや考えをうなずいたり、反応したりしながら聞かせ、自分の考えを整理させる。（技能） ◎付箋を活用し、意見を調整しながら、まとめさせる。（価値・態度）	8
6 グループごとに発表し、全体で共有する。		10

<p>7 解説動画を視聴し、ゲームの怖さの仕組みを理解し、オンラインゲームとどのように関わっていったらよいかを考える。(解決策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レベルに差がでて、仲間に迷惑がかかる ・自分がいないと、回復する人がいなくなってしまう 	<p>○なぜやめることができなかつたのかについて、意志が弱いからやめられなかつたこと以外に、役割と成長等オンラインゲームにのめり込ませる仕組みがあることを考えさせる。</p>	5
<p>8 ゲームをするとき、これから自分はどのようなことに気を付けるか書く。(個別化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めたルールを守る ・時計をセットし、家の人に声をかけてもらう ・時間になったら家の人にゲーム機を預かってもらう ・ペアレンタルコントロールを設定してもらう 	<p>○なかなか書けない児童へは、ヒントカードを渡して書かせる。</p>	2
<p>9 目標を発表し合う。(実践化)</p>		2
<p>10 実践への意欲を高める。</p>	<p>○ルールを守ってインターネットを利用することが大切であり、むやみに心配させないようにする。</p> <p>○ワークシートを持ち帰り、学校だけの学習で終わらせるのではなく、学校で話し合ったことや考えたことを家庭でも話し合うように伝える。</p> <p>☆自分の生活を振り返り、改善すべき点等を見直し、自ら節度を守り、節制に心掛けようとしている。(関心・意欲・態度)</p>	2

(4) 板書計画

<p><めあて> 「ゲームの怖さを知ろう！」</p> <p>オンラインゲームがやめられなくなってしまったひろしさんのお話です。</p> <p>問題点と原因、どのようにすればよかつたのかを考えながら見ましょう。</p>	<p><模造紙></p> <p>「ゲームがやめられない状態」にならないようにするためには、どのようにしたらよいか考えよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; width: 45%;">問題点</div> <div style="background-color: #cceeff; padding: 5px; width: 45%;">原因</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="background-color: #ffcccc; padding: 5px; width: 100%;">どのようにすればよかつたのか</div>
--	--

授業の様子



